

## 「日本紅斑熱」届出 増加について

例年、春から秋にかけて、ダニ媒介感染症（日本紅斑熱・SFTS等）の届出を受けています。和歌山市におきましても、今年はずでに4件の届出を受けています。

つきましては、臨床上、ダニ媒介感染症が疑われる患者を診断した場合は、行政検査体制を整備していますので、情報提供お願いいたします。

<行政検査で確保していただきたい検体>

- ①刺し口 痂皮（滅菌スピッツ）
- ②血液（EDTA加血 2cc程度）

年間届出数	日本紅斑熱	SFTS
2021 (23週まで)	4	1
2020	5	1
2019	11	0
2018	4	2
2017	7	1
2016	2	0
2015	0	1

啓発ポスター等は、和歌山市感染症情報センターHPに掲載しています。

<http://www.kansen-wakayama.jp/topcs/topcs63.html>

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つづが虫病、ライム病 など

**ダニに咬まれないポイント**

- 肌の露出を少なくする
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
- 足を完全に覆う靴を履く
- 明るい色の服を着る

**ダニに咬まれたときの対処法**

- 無理に引き抜かず、医療機関（皮膚科など）で処置
- マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意を